

保存版



こちらでも
ご覧いただ
けます。



未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

家庭学習 サポートブック

小・中学校における9年間での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てる大切なものです。当別町では、この大切な時期を「未来を拓く9年間」として、家庭学習を積極的に進めています。

家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を豊かに生きるための力となり、将来への礎となります。

本紙をぜひ、お子さんと一緒にご覧いただき、積極的に活用されますことをお願いいたします。



家庭学習の目安時間

(学年 × 10分) + 10分

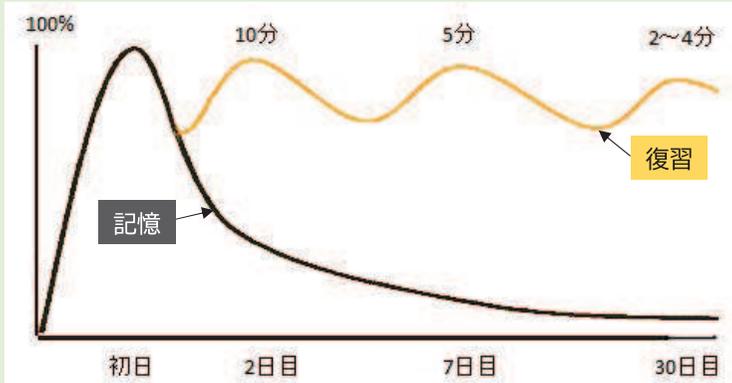
※家庭の状況や個々の学習状況によって変わりますので、あくまでも目安です。

令和5年4月
当別町教育委員会

家庭学習がもたらす多くの効果

① 学習内容が定着します。

学校で学習した内容を家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。また、予習も効果的です。たとえ10分間でも予習をすることで、新たな学習への興味・関心や、疑問点を解決したいという思いをもって授業に臨めるので、集中力や記憶力がアップするとされています。



どのように勉強すると学習効率が上がるかというカナダのウォータールー大学の研究結果があります。黒い線は記憶です。勉強をして知識を得た時点の記憶は、100%となります。しかし、復習せずにいると、黒い線のようにどんどん忘れてしまいます。学習した後、24時間以内に10分の復習をすると、記憶率は100%に戻ります。そして、次回の復習は、1週間以内に行うことで、記憶がよみがえります。つまり、1回目、2回と復習を行うことで学習内容が記憶に定着します。

参考:<https://uwaterloo.ca/campus-wellness/curve-forgetting>

② 学ぶ習慣が形成されます。

計画的に毎日家庭学習を続けることで、低学年の時期から進んで学ぶ習慣が身につきます。少しずつでも継続することが大きな力につながります。

③ 考える力が身につきます。

読み・書き・計算を毎日繰り返すことで、脳が活性化します。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになり、考える力が身につきます。

④ 我慢強さ、根気、集中力が高まります。

テレビやゲームなどの時間を決め、学習などやるべき優先順位を決めることが大切です。そのためには、「ノーテレビデーを作る」といった誘惑に打ち勝つための家族の協力が必要です。

⑤ 家族のコミュニケーションが深まります。

「本を読んでいる時に横で聞いてあげる」「勉強が分からないとき、助言したり一緒に調べたりする」など、学習をしている子どもに親が関わることで親子のコミュニケーションが図れます。

家庭で「3つの習慣」を大切にしましょう

早寝早起き朝ごはん で生活リズムの確立

睡眠は、記憶の整理や定着にも関連しています。睡眠不足は、脳の発達にも影響し、学力の低下につながります。「早寝早起き朝ごはん」で日々の生活リズムを規則正しく整えることは、大切な習慣です。



励ましの声かけ

うまくできるか不安なときの励ましは、大きな力となります。繰り返し声をかけてもらうことは、努力を続ける力となります。その際、より具体的な言葉にすることも大切です。例えば、「この〇〇はらい」がすごくきれいに書けてるね」「難しい問題なのに諦めず取り組めたね」など。



家庭で身につけたい 3つの習慣

学習に集中できる 環境づくり

テレビやゲーム、スマートフォンのように、勉強をする際に興味・関心が移ってしまうものが近くにあると、学習に集中できません。親の目が行き届き、本人が落ち着いて学習できる環境を一緒に作ることで、学習の効率もアップします。



家庭学習の習慣は、家族の関わりが大切です

決める

ゲームやスマートフォンをする時間の約束を家族と決め、その約束を守る意識を育てましょう。

見守る

子どもが主体となって学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援し、自主性を育てましょう。

ほめる

がんばってできたこと、挑戦したことを認め、ほめて、子どものやる気を育てましょう。

Q & A こんな悩みはありませんか？

親として、家庭学習にどの程度関わればよいですか？

自分で目標を決め、計画を立てて一人で学習していくことが理想です。目標や課題の解決に向けて、計画を立てて家庭学習に取り組むことで、目標に向かって自己調整する力が高まり、主体的に学習に取り組む力が身についていきます。お子さんの取り組みを見守りながら、困っているときには相談に乗ってあげたり、内容が充実するようにアドバイスをしてあげたりしてください。成長に応じて、少しずつ本人に任せていくようにしましょう。

学校の先生と家での教え方が違うと混乱してしまうのではないですか？

例えば、筆算の繰り上がり、繰り下がりや書き方など、子どもが習った方法と私たちが習った方法が違うことがあります。そのような場合、おそらく子どもは自分が習った方ではないと納得しないでしょう。その場合は、基本的に子どもが習ったやり方に任せましょう。その上で、アドバイスとして、「お父さん・お母さんは、こんな風に習ったんだよ」と、紹介する気持ちで伝えてあげるといいでしょう。いろいろな方法・解き方があるということを知ること、大切な学習です。押し付けにならないよう「こんなやり方もあるよ」と提案してみてください。それでも理解できない場合は、学校で先生に相談するように話してあげてください。

スマホやテレビゲームに集中して、なかなか学習を始めないのですが…。

使い方や学習時間などのルールを決めましょう。ルールを決める際は、保護者が一方的に決めず、お子さんと相談して決めましょう。

今の時代、お子さんがスマートフォンやゲームを使わないまま大人になることはないでしょう。使うことが悪いのではなく、節度を守って使えるようにしていくことが必要です。ルール作りの際には、「何時まで」「どのくらい」など、お子さんにも分かりやすいものにしましょう。

また、作ったルールをちゃんと守れるか、お試し期間を設け、守れたらほめてあげましょう。

家庭学習を見てあげる時間の余裕がないのですが…。

例えば、終わった宿題をテーブルの上に置いておく約束にして、終わったあとを見てあげるだけでもいいですし、朝一言「昨日もがんばっていて、本当にえらいね」と言われるだけで、子どもはうれしいものです。家庭学習に取り組めない状態が続く場合は、一度じっくりと「家庭学習は、自分で取り組めることが大切なこと」「自分で学習できることは、これからの人生に大きな力になること」「時間を決めるなどして、少しでもいいから自分で始めること」を話してあげてください。子どもに「できそうだな」という見通しをもたせ、やったこと、やろうとしたことをほめ、励ましながら取り組もうとする姿勢を育てることが大切です。

「学びのハンドブック」を家族で活用



各家庭に配布された「学びのハンドブック」は、学校での学びの計画や内容等を知ることができ、家庭学習の一助としてご活用いただけます。

また、下記の活用例を参考にしながら、お子さんの学びの手助けとしてご活用ください。

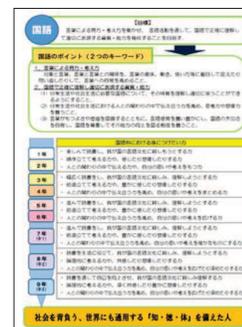
当別町教育委員会のホームページにも、「学びのハンドブック」を掲載しております。

いろいろな教科で活用

いつも机のそばに

がんばりを家族で共有

★活用例 「各教科の目標や身につけたい力」のページ



何のために学ぶのか、お子さんが今の学年でどんな力をどのタイミングで身につけるのか等について明記されています。

家族で学習のポイントや各教科での身につけたい力の理解、コミュニケーションのツールとしてもご活用ください。

学びのハンドブックをタブレット等でもご覧いただけます。



★活用例 「各教科の年間の学習課程」のページ

年間の学習課程 (前期)	前学期					後学期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
2年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
3年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
4年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
5年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
6年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
7年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
8年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動
9年	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	体育	美術	総合	道徳	外国語	特別活動

(1) 学習の見通しに活用

どんな学習が行われているのか。他の学年との学習のつながりなど、9年間の学びを見開きのページで確認することができます。

(2) 学習した所をチェック

お子さんご自身やおうちの方で、学習した単元をチェックしてみましょう。学習のつながりや1年間の見通しをもつことができます。

(3) テストを終えた所をチェック

テスト後に、お子さんと「よくできた単元」を○、「苦手だった単元」を△などでチェックしてみましょう。チェックしておくことで、自分の得意・不得意がわかります。

重点的にどの単元を復習するかなど、家庭学習の計画を立てる際にご活用いただけます。



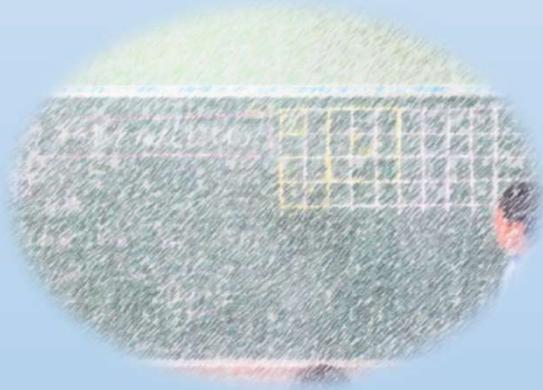
未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

家庭学習で活用

学びのハンドブック

活用の手引き



保存版



こちらでも
ご覧いただけ
ます。

令和5年4月
当別町教育委員会